



2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年4月28日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 吉水 あつ子 TEL 03-3667-7811

定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月8日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	22,677	12.8	1,814	13.1	2,124	10.7	1,672	3.6
2022年3月期	20,096	5.8	1,604	11.7	1,917	8.3	1,614	34.7

(注) 包括利益 2023年3月期 2,025百万円 (16.3%) 2022年3月期 1,741百万円 (3.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	62.30		8.1	8.0	8.0
2022年3月期	60.11		8.5	8.0	8.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 101百万円 2022年3月期 124百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	28,256	21,514	75.9	798.84
2022年3月期	24,745	19,712	79.8	735.73

(参考) 自己資本 2023年3月期 21,450百万円 2022年3月期 19,755百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	579	169	633	4,875
2022年3月期	555	476	275	3,801

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		13.00	13.00	349	21.6	1.8
2023年3月期		0.00		17.00	17.00	456	27.3	2.2
2024年3月期(予想)		0.00		17.00	17.00		31.5	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,200	11.1	1,750	3.5	1,950	8.2	1,450	13.3	54.00

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動に該当しない子会社の異動については、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期	29,748,200 株	2022年3月期	29,748,200 株
2023年3月期	2,896,344 株	2022年3月期	2,896,344 株
2023年3月期	26,851,856 株	2022年3月期	26,851,857 株

期末自己株式数

期中平均株式数

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	14,340	8.1	841	12.6	1,604	1.9	1,271	13.7
2022年3月期	13,263	4.3	962	17.7	1,634	8.8	1,473	46.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	47.35	
2022年3月期	54.87	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年3月期	22,473		19,306		85.9		718.99	
2022年3月期	20,823		17,981		86.4		669.65	

(参考) 自己資本 2023年3月期 19,306百万円 2022年3月期 17,981百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限緩和に伴い、経済活動の正常化が進み、景気回復の兆しが見られました。しかしながら、世界的な金融引き締めに加え、資源高による物価上昇により、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

精糖業界においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ消費が十分に回復できておらず、原材料価格、エネルギー価格の高騰などにより、全般的に厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社グループは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高22,677百万円（前年同期比12.8%増）、営業利益1,814百万円（同13.1%増）、経常利益2,124百万円（同10.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,672百万円（同3.6%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①精糖

海外原糖市況は、ニューヨーク先物市場が期初19.42セント（1ポンド当たり）で始まり、ロシアのウクライナ侵攻が長期化するなか、世界経済の低迷観測によるリスクオフの動きと、米国の利上げ継続措置によるドル高傾向に加え、実需面ではインドの白糖輸出が旺盛であったことやブラジルの予想以上の増産の報から17.20セントまで下落しました。しかし、その後はインドの白糖輸出に規制が掛かったことで一転して反発となり、EUの減産観測やタイでのサトウキビ圧搾の遅れが材料視され上昇に転じました。世界砂糖需給の見通しも下方修正されたことで、現物供給への懸念が拡大し、22.25セントで期末を迎えました。

一方、国内製品市況は期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）204円～205円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが、2022年8月に12円、2023年2月に11円上昇し、227円～229円で期末を迎えました。

製品の荷動きとしましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響がまだ続いておりましたが、飲料・菓子・乳製品関係が年度末に向けて徐々に挽回しました。販売数量は前期に追いつかなかったものの、販売価格上昇により、増収となりました。しかしながら、利益面では販売価格の上昇があったものの、原材料やエネルギーコストを中心に製造コストが大幅上昇し、また、配送運賃の上昇も加わった結果、減益となりました。

以上の結果、売上高は11,678百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益1,024百万円（同15.0%減）の増収減益となりました。

②機能性素材

機能性食品素材「イヌリン」は原材料やエネルギーコストが上昇するなか、国内販売において糖質オフ、腸内環境改善の機能性訴求製品の採用増により前期に比べ、販売数量を増加しました。さらに、海外販売においても、販売数量の増加とともに、販売価格の引き上げを行ったことで増収とすることができました。

切花活力剤「キープ・フラワー」は、昨年の巣ごもり需要の反動により、家庭用製品の販売が減った結果、減収となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、コロナ禍の影響が緩和され、人流が戻ってきたことにより、主にCVS商材向けのペクチン、ゼラチン、コラーゲンなどの主力商品の販売が伸長し、増収とすることができました。

以上の結果、機能性素材事業全体で売上高10,023百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益1,087百万円（同50.6%増）の増収増益となりました。

③不動産

不動産事業につきましては、売上高573百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益533百万円（同0.2%減）の減収減益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献しました。

④その他食品

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心ですが、業績は売上高402百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益13百万円（同15.1%減）の増収減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14.2%増加し28,256百万円となりました。当連結会計年度における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

①資産

当連結会計年度における資産は、流動資産で前連結会計年度末に比べ24.6%増加し、14,262百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加などによるものであります。

また、固定資産では、前連結会計年度末に比べ5.2%増加し、13,994百万円となりました。これは主として投資有価証券の増加などによるものであります。

②負債

当連結会計年度における負債は、流動負債で前連結会計年度末に比べ51.1%増加し、5,176百万円となりました。これは主として短期借入金の増加などによるものであります。

また、固定負債では、前連結会計年度末に比べ2.6%減少し、1,565百万円となりました。これは主として長期借入金の減少などによるものであります。

③純資産

当連結会計年度における純資産は、前連結会計年度末に比べ9.1%増加し、21,514百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加などによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,074百万円増加し、4,875百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、579百万円（前年同期比4.4%増）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益の計上などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、169百万円（前年同期比64.4%減）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出などによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は、633百万円（前年同期275百万円支出）となりました。これは主として短期借入金の増加などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率	73.6	78.9	78.2	79.8	75.9
時価ベースの自己資本比率	69.8	62.6	64.3	54.7	48.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	1.6	2.2	0.9	2.8	3.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ	46.7	36.1	109.8	41.6	20.0

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

2024年3月期の見通しとしましては、わが国経済がコロナ禍から持ち直しつつあり、今後も緩やかに回復を続けていくとみております。しかし、世界的な金融引き締めの中、海外景気の下振れが国内の景気を下押しするリスクを懸念しております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、製品の安定供給及び品質管理を重要課題として取り組むとともに、タイ連結子会社を中心に海外事業の推進に注力してまいります。

精糖事業につきましては、加糖調製品や他甘味料の浸食、少子高齢化などによる砂糖の消費減少傾向は続いております。このようななか、引き続き営業体制強化を図り、品質管理を徹底して製品の安定供給に取り組むことで顧客満足度を高め、堅実で安定した原材料仕入れを図りながら更なるコスト削減に努めてまいります。

機能性素材事業につきましては、イヌリンの機能性訴求製品での採用増を国内、海外で目指すとともに、新規顧客の獲得を図ってまいります。連結子会社ユニテックフーズ株式会社では、ペクチンをはじめとする既存の増粘多糖類の拡販をし、さらには新規事業である植物代替肉（プラントベースドミート）の改良と拡販を目指してまいります。

不動産事業につきましては、引き続き、自社所有賃貸物件の維持管理による安定収益の確保に努めてまいります。さらに2023年の夏場に新たにビジネスホテルの新規賃貸をスタートする予定であります。

以上の結果、2024年3月期の連結業績予想は、売上高25,200百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益1,750百万円（同3.5%減）、経常利益1,950百万円（同8.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益1,450百万円（同13.3%減）の増収減益を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較及び企業間比較の可能性を勘案し、日本基準を適用して連結財務諸表を作成しております。なお、今後も日本基準の改定にも適宜対応しながら、国内外の情勢を見極め、状況の変化に適切に対応できるようIFRSの任意適用に関する検討は行ってまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,501,513	4,875,607
受取手形、売掛金及び契約資産	2,790,977	3,269,993
有価証券	300,000	-
商品及び製品	2,142,844	2,884,272
仕掛品	198,353	180,038
原材料及び貯蔵品	1,180,097	1,572,804
その他	1,331,510	1,481,984
貸倒引当金	△2,153	△2,521
流動資産合計	11,443,143	14,262,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	355,268	343,261
機械装置及び運搬具（純額）	242,427	238,019
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	100,210	141,455
その他（純額）	98,548	82,841
有形固定資産合計	3,323,890	3,333,013
無形固定資産		
その他	81,773	64,079
無形固定資産合計	81,773	64,079
投資その他の資産		
投資有価証券	7,692,552	8,375,478
長期貸付金	1,913	-
関係会社長期貸付金	1,847,300	1,842,400
退職給付に係る資産	54,691	56,821
その他	312,990	335,552
貸倒引当金	△13,185	△13,037
投資その他の資産合計	9,896,262	10,597,215
固定資産合計	13,301,926	13,994,308
資産合計	24,745,069	28,256,487

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,326,292	1,742,322
短期借入金	1,289,600	2,230,300
未払法人税等	48,607	405,564
未払消費税等	7,595	3,316
賞与引当金	127,160	153,215
その他	625,777	642,124
流動負債合計	3,425,032	5,176,843
固定負債		
長期借入金	276,640	-
繰延税金負債	836,530	1,007,033
資産除去債務	77,843	94,347
持分法適用に伴う負債	-	54,896
その他	416,071	409,158
固定負債合計	1,607,085	1,565,435
負債合計	5,032,117	6,742,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,097,151	2,102,408
利益剰余金	14,773,714	16,097,588
自己株式	△717,366	△717,366
株主資本合計	17,677,959	19,007,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,081,389	2,483,766
為替換算調整勘定	25,898	3,373
退職給付に係る調整累計額	△29,577	△43,803
その他の包括利益累計額合計	2,077,710	2,443,337
非支配株主持分	△42,718	63,780
純資産合計	19,712,952	21,514,208
負債純資産合計	24,745,069	28,256,487

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	20,096,053	22,677,852
売上原価	15,259,775	17,401,416
売上総利益	4,836,277	5,276,436
販売費及び一般管理費	3,231,677	3,462,356
営業利益	1,604,599	1,814,079
営業外収益		
受取利息	29,048	29,168
受取配当金	96,852	129,738
為替差益	43,664	48,363
持分法による投資利益	124,436	101,361
その他	36,613	25,791
営業外収益合計	330,615	334,423
営業外費用		
支払利息	15,608	22,907
その他	1,623	1,544
営業外費用合計	17,231	24,452
経常利益	1,917,983	2,124,050
特別利益		
固定資産売却益	0	298
投資有価証券売却益	5,818	-
子会社株式売却益	-	4,830
債務免除益	95,116	-
特別利益合計	100,935	5,129
特別損失		
固定資産除却損	24	3,550
固定資産売却損	1	-
減損損失	-	12,060
解体撤去費用	27,760	-
投資有価証券売却損	757	-
特別損失合計	28,543	15,610
税金等調整前当期純利益	1,990,375	2,113,569
法人税、住民税及び事業税	181,706	473,781
法人税等調整額	90,153	△8,953
法人税等合計	271,860	464,827
当期純利益	1,718,515	1,648,741
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	104,392	△24,206
親会社株主に帰属する当期純利益	1,614,123	1,672,947

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,718,515	1,648,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,998	402,377
為替換算調整勘定	596	△9,881
退職給付に係る調整額	△3,488	△14,225
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△1,513
その他の包括利益合計	23,106	376,756
包括利益	1,741,621	2,025,497
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,632,132	2,051,203
非支配株主に係る包括利益	109,488	△25,706

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,524,460	2,049,343	13,460,462	△717,257	16,317,009
会計方針の変更による累積的影響額			△5,498		△5,498
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,524,460	2,049,343	13,454,963	△717,257	16,311,510
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△295,372		△295,372
親会社株主に帰属する当期純利益			1,614,123		1,614,123
自己株式の取得				△127	△127
自己株式の処分		20		18	39
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		47,786			47,786
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	47,807	1,318,750	△108	1,366,449
当期末残高	1,524,460	2,097,151	14,773,714	△717,366	17,677,959

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,055,391	21,656	△26,088	2,050,959	△121,242	18,246,726
会計方針の変更による累積的影響額						△5,498
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,055,391	21,656	△26,088	2,050,959	△121,242	18,241,227
当期変動額						
新株の発行						—
剰余金の配当						△295,372
親会社株主に帰属する当期純利益						1,614,123
自己株式の取得						△127
自己株式の処分						39
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						47,786
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	25,998	4,241	△3,488	26,751	78,523	105,274
当期変動額合計	25,998	4,241	△3,488	26,751	78,523	1,471,724
当期末残高	2,081,389	25,898	△29,577	2,077,710	△42,718	19,712,952

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,524,460	2,097,151	14,773,714	△717,366	17,677,959
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,524,460	2,097,151	14,773,714	△717,366	17,677,959
当期変動額					
新株の発行		5,256			5,256
剰余金の配当			△349,074		△349,074
親会社株主に帰属する当期純利益			1,672,947		1,672,947
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5,256	1,323,873	—	1,329,130
当期末残高	1,524,460	2,102,408	16,097,588	△717,366	19,007,090

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,081,389	25,898	△29,577	2,077,710	△42,718	19,712,952
会計方針の変更による累積的影響額						—
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,081,389	25,898	△29,577	2,077,710	△42,718	19,712,952
当期変動額						
新株の発行						5,256
剰余金の配当						△349,074
親会社株主に帰属する当期純利益						1,672,947
自己株式の取得						—
自己株式の処分						—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	402,377	△22,524	△14,225	365,626	106,498	472,125
当期変動額合計	402,377	△22,524	△14,225	365,626	106,498	1,801,256
当期末残高	2,483,766	3,373	△43,803	2,443,337	63,780	21,514,208

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,990,375	2,113,569
減価償却費	133,885	135,717
のれん償却額	2,716	-
減損損失	-	12,060
子会社株式売却損益(△は益)	-	△4,830
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,281	30,830
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,044	220
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△23,060	△22,655
受取利息及び受取配当金	△125,900	△158,906
支払利息	15,608	22,907
為替差損益(△は益)	△40,852	△43,222
持分法による投資損益(△は益)	△124,436	△101,361
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,060	-
固定資産除却損	24	3,550
固定資産売却損益(△は益)	0	△298
債務免除益	△95,116	-
売上債権の増減額(△は増加)	20,146	△507,302
棚卸資産の増減額(△は増加)	△927,928	△1,137,136
未収入金の増減額(△は増加)	△9,721	15,701
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△16,995	△362,410
仕入債務の増減額(△は減少)	205,642	416,288
未払消費税等の増減額(△は減少)	△23,804	△4,278
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△126,357	63,579
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△20,630	2,787
その他	151,196	△23,275
小計	984,968	451,532
利息及び配当金の受取額	152,476	167,170
利息の支払額	△13,342	△28,992
法人税等の支払額	△569,033	△146,150
法人税等の還付額	-	136,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	555,069	579,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,961	-
投資有価証券の取得による支出	△156,162	△1,656
有形固定資産の取得による支出	△218,358	△259,894
有形固定資産の売却による収入	27	299
無形固定資産の取得による支出	△43,898	△14,429
長期貸付けによる支出	△940,000	△910,000
長期貸付金の回収による収入	870,275	1,055,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△39,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△476,155	△169,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	985,900
長期借入れによる収入	82,800	72,010
長期借入金の返済による支出	△70,000	△150,000
自己株式の取得による支出	△127	-
自己株式の売却による収入	39	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	25,572	90,000
リース債務の返済による支出	△18,191	△15,192
配当金の支払額	△295,372	△349,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,278	633,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,157	30,477
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△166,207	1,074,093
現金及び現金同等物の期首残高	3,967,721	3,801,513
現金及び現金同等物の期末残高	3,801,513	4,875,607

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

製造設備に関する賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、また、一部の製造設備に使用されている有害物質の除却義務について、原状回復費用及び除却費用の新たな情報の入手に伴い、原状回復費用及び除却費用に関して見積りの変更を行っております。

見積りの変更による増加額12,060千円を変更前の資産除去債務残高に加算するとともに、同時に計上した有形固定資産について全額を減損損失として特別損失に計上しました。

当該見積りの変更の結果、当連結会計年度の税金等調整前当期純利益は12,060千円減少しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当連結会計年度において、特定子会社に該当しない連結子会社Day Plus(Thailand)Co.,Ltd.の株式の一部を売却したことで、同社が持分法適用関連会社となり、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、各拠点に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「精糖」、「機能性素材」、「不動産」及び「その他食品」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントを構成する主要製品及びサービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品及びサービス
精糖	精製糖、液糖、砂糖関連製品等
機能性素材	食品添加物、切花活力剤、機能性食品素材、天然添加物素材等
不動産	不動産賃貸等
その他食品	製パン等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	10,874,056	—	—	—	10,874,056	—	10,874,056
食品添加物	—	156,457	—	—	156,457	—	156,457
機能性食品	—	7,858,525	—	—	7,858,525	—	7,858,525
切花活力剤	—	275,567	—	—	275,567	—	275,567
製パン等	—	—	—	357,495	357,495	—	357,495
顧客との契約から 生じる収益	10,874,056	8,290,550	—	357,495	19,522,102	—	19,522,102
その他の収益	—	—	573,951	—	573,951	—	573,951
外部顧客への売上高	10,874,056	8,290,550	573,951	357,495	20,096,053	—	20,096,053
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,724	—	5,988	32,138	49,851	△49,851	—
計	10,885,781	8,290,550	579,939	389,633	20,145,904	△49,851	20,096,053
セグメント利益	1,206,091	722,223	534,639	16,047	2,479,003	△874,403	1,604,599
セグメント資産	11,338,763	5,005,662	1,839,384	241,727	18,425,538	6,319,531	24,745,069
その他の項目							
減価償却費	39,376	82,122	3,532	3,284	128,315	5,569	133,885
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
のれんの償却額	—	2,716	—	—	2,716	—	2,716
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	32,624	119,207	77,049	35,016	263,897	—	263,897

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△874,403千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。
なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額6,319,531千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金、有価証券）、長期投資資金（投資有価証券）等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額5,569千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結 財務諸表 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	11,678,222	—	—	—	11,678,222	—	11,678,222
食品添加物	—	176,608	—	—	176,608	—	176,608
機能性食品	—	9,584,381	—	—	9,584,381	—	9,584,381
切花活力剤	—	262,398	—	—	262,398	—	262,398
製パン等	—	—	—	402,700	402,700	—	402,700
顧客との契約から 生じる収益	11,678,222	10,023,387	—	402,700	22,104,310	—	22,104,310
その他の収益	—	—	573,541	—	573,541	—	573,541
外部顧客への売上高	11,678,222	10,023,387	573,541	402,700	22,677,852	—	22,677,852
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,885	—	5,998	39,436	58,320	△58,320	—
計	11,691,107	10,023,387	579,540	442,136	22,736,173	△58,320	22,677,852
セグメント利益	1,024,796	1,087,669	533,423	13,617	2,659,506	△845,427	1,814,079
セグメント資産	12,448,571	6,658,377	1,759,793	68,621	20,935,363	7,321,124	28,256,487
その他の項目							
減価償却費	34,516	85,989	3,448	6,529	130,484	5,232	135,717
減損損失	12,060	—	—	—	12,060	—	12,060
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	37,992	213,122	396	62,564	314,074	—	314,074

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△845,427千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。
なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額7,321,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主なものは、親会社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）等であります。
 - (3) 減価償却費の調整額5,232千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の減価償却費であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
双日食料株式会社	8,069,816	精糖及び機能性素材

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ	韓国	合計
2,981,500	351,501	11	3,333,013

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
双日食料株式会社	9,539,835	精糖及び機能性素材

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。
なお、のれんの未償却残高に関しては、該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	735.73円	798.84円
1株当たり当期純利益金額	60.11円	62.30円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	19,712,952	21,514,208
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	△42,718	63,780
(うち非支配株主持分(千円))	(△42,718)	(63,780)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	19,755,670	21,450,427
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(千株)	26,851	26,851

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,614,123	1,672,947
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,614,123	1,672,947
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,851	26,851

(重要な後発事象)

該当事項はありません。